

年金者部会総会の日程決まる

年金者部会ニュース

滋賀銀行
従業員組合
年金者部会
TEL077-521-2775
FAX077-525-5232

9月24日午後、滋賀銀行従業員組合書記局において年金者部会世話人会が開催されました。

会議では、「年金者部会総会について」「ちぎんの会総会について」の2議題を協議
世話人会において今年度の年金者部会総会を次の日時、場所で開催することを決めました。
11月11日(土) 10時から午後2時30分まで
滋賀銀行従業員組合の第111回定期大会が同所で開催されます。
中島委員長から、「上期臨給支給後直属の上司との面接で起こった「不当労働行為」問題について、先輩組合員とともに議論したいので定期大会には是非参加してほしい。」との依頼があります。

第12回年金者部会総会
日時 10月22日(火)
場所 守山市「ライズヴィル都賀山」(旧つがやま荘)
総会 午後3時より午後4時
交流会 午後4時より午後6時00分まで
従組大会が午前10時より午後3時まで開催されますので是非ご参加ください。

年金者部会員のみなさん従業員組合の大会には是非とも参加いただけますようお願いいたします。

長浜の秋の風物詩 芸術版楽市楽座アート・イン・ナガハマ



大手通り黒壁前 芸術家の作品展示

館広場を中心に周辺市街地で行われました。
アメリカ東部の小さな街で開かれていた青空芸術市をヒントに、かつて秀吉が長浜城下に設けた「楽市楽座」を芸術の視点で再興させようと地元のお店主や市民が手作りで1987年に催したのが始まり。

長浜市街地を芸術一色に染め上げる人気イベント「芸術版楽市楽座アート・イン・ナガハマ」が10月5・6日メイン会場の曳山博物館

訃報

坂本 幸男さん(部会世話人・元滋賀銀行従業員組合執行委員長・元地銀連委員長)が9月20日午後10時42分大動脈瘤剥離で急逝されました。74歳でした。告別式は9月23日大津市内でおこなわれ、「ちぎんしがの会」会員が参

列、最後のお別れをしました。奇しくも波紋357号(2013年8月)の「戦争と私」に坂本さんの6歳の時の記憶から「2つの証言をしておきたい」として『「はだしのゲン」との記憶の共有』を寄稿されています。
この文が坂本幸男さんの絶筆となりました。

私の近況 ④

坂下 祥子

早いもので退職後9年が過ぎました。県と大津の母親大会連絡会の会議や趣味のおけいこ、新婦人の小組の活動、時々2人の娘の子供たち(孫)が病気になる家へ行ったり預かったり、保育園のお迎えに行ったりとゆっくりとする時がありません。でも、元氣だから出来るのだと健康な体に出るのだから感謝しています。
毎日でも歩きたいのが友達と時間の合う月曜日に2時間程度ウォーキングしています。コースによっておいしいパン屋さんを見つけたり地場の野菜を安く売っている雑貨屋さん立ち寄りしたり、春は蕨や蓬の生えている場所や山帰来のある小路や山道を、季節を楽しみながら足腰を鍛えるために歩いています。
ハードな旅に備えて。

年金2.5%削減 実施やめよ！

10月実施なら 行政不服審査請求運動へ 全日本年金者組合が行動を提起



10月1日官邸前行動

こうした動きに抗議して、削減された年金の支給通知が12月に届くのを機に、全国いっせいに行政不服審査請求をおこなうものです。

全日本年金者組合（年金者組合）と全労連は1日、年金の2・5%引き下げに反対する「ストップ高齢者いじめ！官邸前アクション」を行いました。「怒」と書かれたプラカード、「年金引き下げは許さない」と書かれた横断幕を掲げて約400人が参加。首相官邸に向かって「引き下げは撤回を」「庶民や年寄りをいじめるな」と唱和しました。
（しんぶん赤旗10月2日号より）

年金者組合は、9月26日東京都内で記者会見し、10月からの年金切り下げに抗議して全国いっせいに行政不服審査請求をおこなう、と発表しました。

政府は9月3日、年金支給額を10月分から1%引き下げる政令を閣議決定しました。この引き下げは、昨年11月に「物価を口実に、3段階で2・5%の削減を決めたその最初の1%にあたります。

滋賀県本部が学習会

年金者組合滋賀県本部は7月25日の定期大会で森口藤子副委員長を招いて「行政不服審査請求運動」について学習をおこないました。

森口副委員長は、最初に「年金の2・5%引き下げは不当であり、権利としての社会保障に確信をもって運動をすすめよう」と呼びかけ、3年間続く年金の引き下げが実施された場合は、不服審査請求運動で政治情勢を変えるようなたたかいにしていきたいと強調し「来年1月末を全国いっ

せいの提出日に決め、集会、デモなどをしながら提出行動をする」などを提起しました。

参加者から「すべての組合員の参加は難しい。どれくらいで成功とみているのか」との質問に、森口副委員長は「11万組合員みんなが立ち上がるのが目標で、1人でも多くの参加をめざしたい。あくまで自発的な行動として無理強いせず、それぞれの立場に十分配慮しながら団結をこわさないようにすすめてい」と答えました。（年金者しんぶん8月15日号より）

昨年10月宮城県松島町で開かれた「ちぎんの会」第2回総会で、次回（第3回）総会は西部で持つことが決まりました。

8月「ちぎんの会」の役員会で次回の総会について協議し、2回総会の決定にもとづき来年（2014年）の

「ちぎんの会」第3回総会 2014年秋 滋賀で

秋、滋賀で準備することになりました。

これを受けて世話人会で「ちぎんの会」総会について話し合い、年金者部会世話人が準備をすることにしました。部会員のみなさんにもご協力願うことができますと思います。その時には、ご協力いただきますようお願いいたします。
（世話人一同）